

オーストラリアでの生活

名古屋市立富田高等学校 2年 内山愛

1. 私の研修の目標

私は、オーストラリアと日本の生活の違いについて興味があったので、生活していく中でどのようなところが違い、またどのようなところが似ているのかを知りたいと思いました。さらに、オーストラリアの街並みや文化についても実際に見ながら体験したいと思いました。そして、たくさんの人々と交流し、コミュニケーションをとりながら英語を身につけたいと思いました。

2. 事前の準備

私がこの海外派遣で一番心配していたのは英語です。その心配を少しでも減らそうと毎日単語を覚えたり、英語で日常会話を聞いたりしました。そして、オーストラリアの学校生活について尋ねるときに備えて、日本での学校の一日の様子を英語で話せるようにしました。さらに、名古屋について紹介するためにグループで名古屋港水族館について英語で発表できるように準備しました。特に、水族館の動物について紹介する時の参考に、オーストラリアの動物についても調べました。

3. シドニーでの体験

最初の2日間はシドニーで施設を見学したり、セントアロイシヤスカレッジで体験入学をしました。次の5日間はブルーマウンテンズのホストファミリーの家庭でホームステイをしながら、ブルーマウンテンズグラマースクールで体験入学をしました。そして、最後の3日間はまたシドニーへ戻り、タロンガ動物園、ジェットロ、市役所、シドニー大学等へ足を運びました。

私はこの中で、特に印象に残っていることは2つあります。1つ目はブルーマウンテンズグラマースクールでの生活です。バディーと一緒に授業を受けたのですが、生徒みんなが分からないことがあれば積極的に手を挙げて質問していて驚きました。さらに、学校生活が日本とは違っていました。放課がなかったり、生徒がみんなノートパソコンを持ってい

たり、1つの教室で授業をせず、移動して授業をしていたりなど多くのことが違って、最初は戸惑いでしたがいい経験が出来たと思っています。

2つ目はホームステイです。初めてのホームステイだったので緊張しましたが、ホストファミリーの人たちと会ったとき、私をあたたく受け入れてくれてすぐに打ち解けることが出来ました。英語が通じるかどうか心配でしたが、丁寧に話してくれたので上手くコミュニケーションをとることが出来ました。ホストファミリーの人たちと過ごした時間はとても速く過ぎてしまいました。

4. 研修の成果と今後の課題

<成果>

オーストラリアについて知らなかった部分をたくさん知ることが出来ました。経済や生活、動物について実際に行かないと分からないことを知ることができました。さらに、オーストラリアの生徒はみんな自分の考えをしっかりと持っていたので、私も自分の考えを持たなければならないと思うようになりました。そして、英語の面では前より話せるようになったと思います。

<課題>

この研修を通して、私はこれからは恥ずかしがらずに自分から積極的に声をかけていきたいと思っています。最初、オーストラリアの学校へ行ったとき、挨拶をしたり、分からない部分を質問することに遠慮がちだったことが多くありました。オーストラリアの生徒を見て、自ら行動することが大切だと感じました。また、たくさんの人々と交流していくうちに以前よりは英語を理解し、話すことができるようになりましたが、やはりまだわからないことが多くあるので、もっと英語を勉強していきたいと思いません。

